

報道機関に依頼する事項に○をつけてください

- ①実施する事業の紹介 ②催事等の参加者募集 ③催事等の当日取材

報道取材情報（沼津市）

令和2年7月10日（金）発表

名称等	沼津北ロータリークラブ創立60周年記念事業 フェンシング審判器 寄贈式を開催します。
実施日時	令和2年7月19日（日曜日）12時～12時30分
場所	プラサヴェルデ 1F 多目的ホール
担当	産業振興部 スポーツ交流推進課 直通 055-934-4890 内線 2598 メール sportskoryu@city.numazu.lg.jp

1 内容

今年度で創立60周年を迎えた沼津北ロータリークラブの記念事業として、本市のフェンシングの取組に対して、審判器を2台寄贈していただくことになりました。

寄贈式を開催し、その中で、本市で合宿中の日本代表フルーレチームの選手にご協力いただき、寄贈された審判器を使用して代表選手によるデモンストレーションを行います。

2 出席者

- ・沼津北ロータリークラブ 会長 横山 貞治
- ・" 幹事 高橋 健
- ・" 創立60周年実行委員長 西島 昭男
- ・" 創立60周年記念事業委員長 清水 学
- ・沼津市長 頼重 秀一
- ・日本代表フルーレチーム 鈴村 健太 選手（予定）、狩野 央梨沙 選手（予定）、他スタッフ1名

3 式の流れ

- ・出席者紹介
- ・寄贈者あいさつ（沼津北ロータリークラブ 会長）
- ・審判器寄贈
- ・御礼あいさつ（沼津市長）
- ・デモンストレーション（日本代表フルーレ選手）
- ・記念撮影



審判器の写真

4 その他

- ・当日、現地での取材を希望される場合は、7月14日（火）までに別紙取材申請書をFAX又はメールでスポーツ交流推進課までご提出ください。（様式は市ホームページ内のフェンシングのまちなMAZUホームページにも掲載しています。）
- ・既に取材申請書を提出されている場合は、再度提出する必要はありません。
- ・出席者及び報道関係者については、「フェンシング日本代表合宿受入れのためのガイドライン」に即した、新型コロナウイルス感染防止策をとります。

フェンシング日本代表合宿 取材申請書（スポーツ交流推進課一括申請分）

申請日：2020年 月 日

会社名・団体名：

部 署：

番組名・媒体名・クライアント名：

責任者氏名（ふりがな）：

(_____)

電話番号：

/メールアドレス：

取材希望日（○を付ける）：

7月4日（土）AM、7月9日（木）PM、7月19日（日）AM、7月23日（木祝）終日

掲載、放送地域等：

掲載日、OA日時：

取材、出演対象者名：

フェンシング日本代表合宿受入れのためのガイドライン

フェンシング日本代表合宿について、新型コロナウイルス感染防止対策を十分に講じた上で受け入れることとする。特に飛沫予防への対策に重点を置き対応を行う。

【スポーツ交流推進課対応職員】

- 1 健康状態の確認
 - (1) 課職員は、健康状態を健康調査票に記録する。(別紙1)
 - (2) 健康調査項目に該当する場合は、合宿対応業務から離脱する。
- 2 会場内及び選手等の送迎の際は、必ずマスクを着用する。
- 3 こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施する。
- 4 ソーシャルディスタンス（できるだけ2m以上）の確保に努める。
- 5 新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、日本フェンシング協会に対して、速やかに報告し、濃厚接触の有無等について確認する。

【会場について】

- 1 練習中は、会場内の換気に努め、出入口にアルコール消毒液を配置し、練習会場内に入出入りする際の手指消毒を実施する。
- 2 スポーツ交流推進課職員、選手及びスタッフ以外については、練習会場内への入場の際に、体温をチェックし、入場者確認票へ記録する。
※ 原則 37.5 度以上の者の会場内への出入りは禁止する。
- 3 練習会場内は、原則マスク着用とする。(選手及びスタッフを除く)
- 4 練習公開日において、見学者と練習会場を隔てるため、飛沫予防の透明シートを設置する。
- 5 会場内の設備（ドアノブ、ロッカー取手、テーブル、椅子等）については、定期的に消毒する。
- 6 三つの密を避けるため、練習会場内への最大入場人数を 50 人に設定して対応する。
- 7 感染防止のため、各種ガイドラインを遵守する。